

ママFPの家づくり講座

第2回「家づくり資金計画の立て方」

住宅展示場を見て回り理想の家づくりが具体的にたってきたら、気になるのはお金のこと。私たちも「いくらの家を買えるのでしょうか?」とよく質問されます。そこで今回は、家を建てる前に知っておきたい資金計画についてのお話です。

家建てる場合、ほとんどの方が住宅ローンを利用すると思いますが、ローン借入額は年収の最大7倍、無理のない返済は5倍といわれています。しかし、それをうのみにして大丈夫でしょうか? なぜならこれはあくまで借りられる額の目安で、返済できる金額ではないか

もしれません。住宅ローンで失敗しないためのチェックポイントは次の3つ。
①お子様の教育費や旅行、車の買い替え資金などこれから起こるイベントと予算をすべて書き出します。
②現状の収入と支出を把握し、何歳まで「働きたい」「働ける」か確認。
③イベントで必要なお金はどのように用意するか。貯金を充てるのか、月々積み立てる必要があるのか考えます。

月々の積み立てが必要なる場合、積立金がいくらのかが分かれば「月収ー(生活費+積立金+住宅ローン)」で具体的な金額が出ます。積立金の計算方法は、車の買い替えや教育費で10年後に500万円必要な場合「500万円÷10年÷12カ月」月約4.1万円「の積み立てが必要と分かります。」
月々のローン返済額が分かれば最終チェックです。
□返済終了時の年齢。退職後も支払が続く場合は、その後の資金計画も必要です。
□ボーナス払いを検討している場合はボーナスがなくなるリスクがないか。
□お金のかかるイベントに漏れがないか。
老後までを考えると

[取材協力]

(有)ファミリーライフ
クラモチ

土浦市永国997-1
☎0120-123-065

FP(ファイナンシャルプランナー)は家計に関するお金全般の知識を持つ「お金のお医者さん」です。かかりつけ医のような存在のFPをぜひお探しくくださいね。

2級ファイナンシャル・
プランニング技能士
野田敬子さん



で、今だけの夢の実現ではなくこれからの夢も実現できるようにしたいですね。